

## 学校評価報告書

学校（園）名 深谷市立幡羅幼稚園

### 1 学校評価のねらい（学校・園としての受け止め）

- ・指導の改善や子供の「心情・意欲・態度」の形成に活かすため
- ・保護者と連携を取り合って、より良い園運営をするため

### 2 評価の方法（自己評価・学校関係者評価・第三者評価の別、回数、方法等）

- ・自己評価 年2回（1学期末・3学期中）
- ・学校関係者評価 年2回（1学期末・2学期末）
- ・方法 両者ともアンケート形式で実施（要記名）  
保護者には、記述式で実施している。

### 3 評価の結果

#### （1）主な指標の変化

- ・学校関係者評価では、幼稚園に対し、「子供一人一人を大切に、よく理解してくれている。（昨年度95.2%）」「安全できれいな、気持ちの良い環境を整えている。（昨年度90.5%）」「教育活動については、全体的に満足している。（昨年95.2%）」の3項目が100%となり、昨年度よりも高い評価となった。
- ・自己評価では、保育指導等について、職員は概ね達成されていると考えており、昨年とほぼ同様である。

#### （2）学校教育目標の具現化に向けた指標

- ・学校関係者評価で、「意欲的に生き生きと活動できる子供の育成に努めている。」の問いに、100%の保護者が「あてはまる」と答えており、職員が幼稚園の教育目標である『げんきに、なかよく、たくましく』に向けて園児を指導していることがわかる。「お子さんは、楽しく意欲的に遊びに取り組んでいる。」の問いに対しても、100%の保護者が「あてはまる」と答えており、元気でたくましい子供の育ちが見られるといえる。

#### （3）学校研究課題の具現化に向けた指標

- ・「お子さんは、挨拶や「ありがとう」などを自分から言える。」「お子さんは、自分の思っていることを先生や友達に言える。」の問いに、81%の保護者が「あてはまる」と回答した。今年度の研究課題である、「身近な自然や人とかかわる体験をとおり、思いやりの気持ちや言葉で伝え合う力の育成」については、おおむね達成されていると考えられる。

#### 4 次年度に向けての展望

- ・「幼稚園に行くのを楽しみにしている。」「絵本の読み聞かせを楽しんでいる。」という問いに対し、「よくあてはまる」と回答した保護者が、1学期の学校評価と比べ、2学期の学校評価の方が多かった。これは、園児が幼稚園での活動に喜んで取り組み、楽しみにしているからだと考えられる。次年度も、日々の遊びや行事を通して、一人一人を生かし、こころ豊かでたくましい子供の育成に努めたい。